

参加者の声



Aくん

とても自分のためになったプログラムでした。参加して良かったと思います。今まで少なかった他学年との交流や他の学校の仲間たちと話すことができ、貴重な経験になりました。国際教養大学の大学生の方々もとても優しくいただき、目指すべき目標が見つかりました。英語も話せるように頑張りたいです。



Bさん

とても充実していました。ありがとうございました。国際教養大学の雰囲気を知ることができ、また大学生のアシスタントの方々との交流もあり、本当に楽しかったです。プレゼンテーションを半日で作り上げるのは中々大変でしたが、完成した時には達成感を味わえましたし、英語で表現することの難しさを改めて感じ、「東京に帰ったらまた英語を頑張ろう!」と思うことができました。ぜひまた参加したいです。

参加申込について

7/18(月)までにご連絡下さい。



gcp@core-net.net

- ※ご連絡いただいた後、参加申込書をメールでお送りいたします。
- ※お申込み後、出発までの間にオリエンテーションを行います。
- ※ご質問等ございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。



コアネット教育総合研究所

株式会社 コアネット
 □ 本社 / 〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-26-10
 TEL: 045-914-3005 FAX: 045-914-3015
 URL: <http://www.core-net.net/> Email: gcp@core-net.net
 担当: 松原・川畑・中村

公立大学法人 国際教養大学 とは？

2004年に秋田県に設置された公立大学です。メディアでも多く取り上げられていますが、就職内定率はほぼ100%、授業はすべて英語、全員1年間の海外留学が必須、24時間365日開館している図書館、1年生全員が1年間の寮生活など、様々な特徴ある教育を行っています。

2016年

8月23日(火)～26日(金)

～国際教養大学3泊4日PBLプログラム～

Global Challenge Program
 in AIU (国際教養大学)

将来、世界を舞台に活躍したい高校生へ
 この夏“国際教養(International Liberal Arts)”を学ぼう



国際教養大学 × コアネット教育総合研究所

趣旨



今、社会では世界を舞台に活躍できる人材の育成が求められています。今高校生の皆さんが社会に出て、世界や日本を支えていく立場になる頃には、さらにグローバル化が進み、海外で働くことが普通に求められるようになるかもしれません。

グローバル社会で活躍するために必要な要素の中でも、本プログラムでは“国際教養”を学んでほしいとの思いから企画をしました。

3泊4日という短い期間ですが、国際教養を教える先進校である国際教養大学で学び、その重要性に気づき、今後の進路に活かして欲しいと思います。



Point 1 国際教養大学の授業が受けられる

テレビや新聞等、様々なメディアで取り上げられている国際教養大学。秀でた英語教育や1年間の留学、24時間使用可能な図書館等が有名ですが、根本は国際教養。今回はその授業の一つであるPBLを体験します。

・PBL(Project-Based Learning 課題解決型学習)

少人数のグループに分かれて、実社会に存在する具体的な課題に取り組むもの。その過程で、課題の解決に向かって主体的に学習を進めることで、実社会において指導力を発揮するために必要な「課題解決能力」「論理的思考力」「発信力」を養います。大学で実際に行っているPBLを、今回のプログラム用に作りかえ、実施します。

Point 2 国際教養大学の学生と交流できる

・大学生がアシスタント

就職実績の高い国際教養大学。そこで学ぶ学生がグループワークやプレゼンテーションのアシスタントとしてグループにつき、サポートします。課題に関することはもちろん、進路に関してもアドバイスをもらえるチャンスです。

Point 3 他校の高校生と学び合える

・想いを同じくする他校の生徒と学び合える

本プログラムは複数校合同で実施します。学校の枠を超え、将来的にグローバル社会で活躍したいと考える生徒たちで議論し、プレゼンテーションを行う経験を通じて、様々な視点や多くの仲間を得ることができます。



概要

目的

国際教養大学での学びを通じて、国際教養の一端を体感する

身に付けたい力

講義を通じて、国際教養として必要となる分野の知識の一端を知る

講義・ワークを通じて、発信力や論理的思考力を身につける

大学での学びを通じて、今後の自身の進路や学習に対する意識を高める

日時	8月23日(火)～26日(金) 3泊4日
場所	大学施設(講義室、図書館、グループ学習室、等)、角館町
講師	国際教養大学 地域環境研究センター 根岸洋助教、国際教養大学の学生アシスタント
対象	私立・公立高等学校 高1～3年生 20名程度(複数校合同) ※主体的に課題に取り組み、進路に対する意識の高い生徒を求めます
申込	参加申込書のご提出(7月18日まで)
費用	1人当たり99,800円(税別) ※含まれるもの：羽田-秋田間往復航空券、秋田空港-大学・ホテルまでの交通費、ホテル代、食事(朝3、昼4、夜3)、講師料・企画費、施設費、フィールドワークにかかる費用、等 ※含まれないもの：自宅-羽田空港までの交通費、その他個人的に必要な経費、保険
内容	講義(英語)、フィールドワーク、グループワーク、プレゼンテーション(英語)、等

ツアースケジュール(予定)

時間	8/23(火)Day1	8/24(水)Day2	8/25(木)Day3	8/26(金)Day4
9:00		朝食	朝食	朝食・荷物準備
10:00		移動	移動	PBL(Step4 まとめ) プレゼン準備 @プラザクリプトンホテル
11:00	東京→秋田へ移動	PBL(Step3 調査) フィールドワーク @角館町	PBL(Step3 調査) フィールドワーク @角館町 昼食時間含む	PBL(Step5 発表) プレゼン・講評・終了式 @プラザクリプトンホテル
12:00	昼食	昼食		
13:00	大学説明会・キャンパスツアー		移動	昼食
14:00	PBL(Step1 グループ作り)	PBL(Step3 調査) フィールドワーク @角館町 (ゲスト講演・調査)		移動 →大学・秋田空港
15:00	PBL(Step2 講義) ・文化遺産論 ・角館町について		PBL(Step4 まとめ) ディスカッションワーク&図書館・ネット等での調査 @大学施設	
16:00				秋田→東京へ移動
17:00	PBL(Step3 調査) 下調べ・まとめ		PBL(Step4 まとめ) プレゼン準備 @大学施設	
18:00	移動・チェックイン	移動	移動	解散
19:00	夕食	夕食	夕食	
20:00	課題 @プラザクリプトンホテル ・調査計画作成	課題 @TUFUS田沢湖温泉ロッジ ・データ整理	課題 @プラザクリプトンホテル ・プレゼン準備	
21:00				

【授業タイトル】

「PBLで学ぶ地域活性 ～文化遺産を活用した観光まちづくり～」

【授業概要】

国際教養大学のある秋田県は、祭りなどの民俗、建造物、遺跡など、全国有数の文化遺産を有しています。他方、それらの観光資源化はほとんど進んでおりません。日本で最も早く人口減少が進む本県では、地域住民が主体となり、他の地域にはない文化遺産を活用して、国内外の観光客も含めて交流人口を増やす持続的な取り組みが求められています。

今回のプログラムは、本学が実施する課題解決型学習(Project-Based Learning:PBL)の手法を用いた地域活性に関する授業の体験です。授業課題は、「『みちのくの小京都』角館町に長く滞在してもらうには？」です。観光客に文化遺産の価値を伝えて、かつ角館町を楽しみながら滞在してもらうための方法を考えてもらいます。高校生はグループに分かれ、英語の講義、フィールドワーク、グループ学習を通して課題解決に取り組み、最後に観光まちづくり案をまとめ英語でグループ発表を行います。